

富山高等専門学校					国際ビジネス学科										開講年度		平成23年度 (2011年度)										
学科到達目標																											
科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																担当教員	履修上の区分				
						1年				2年				3年				4年						5年			
						前		後		前		後		前		後		前		後				前		後	
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			1Q	2Q	3Q	4Q
一般	選択	日本文学講読	0001	履修単位	1																2				近藤 周吾		
一般	選択	法学	0002	履修単位	1																2				神山 智美		
一般	選択	体育Ⅴ	0003	学修単位	1																1				金子 龍大、大橋 千里		
一般	選択	総合英語Ⅵ	0004	履修単位	1																2				穴戸 公子		
一般	選択	総合英語Ⅶ	0005	履修単位	1																		2		モアナヌビル		
専門	必修	卒業研究	0006	履修単位	10																10		10		西原 雅博		
専門	選択	流通システム論Ⅰ	0007	履修単位	1																		2		清水 真		
専門	選択	流通システム論Ⅱ	0008	履修単位	1																		2		清水 真		
専門	選択	ビジネス英語演習Ⅰ	0009	履修単位	1																	2			西原 雅博		
専門	選択	ビジネス英語演習Ⅱ	0010	履修単位	1																		2		西原 雅博		
専門	選択	時事英語演習	0011	学修単位	2																2				西原 雅博		
専門	選択	ビジネス環日本海諸国語(中国語)	0012	学修単位	2																	2			海老原 毅		
専門	選択	ビジネス環日本海諸国語(韓国語)	0013	学修単位	2																	2			天坂 仁美		
専門	選択	ビジネス環日本海諸国語(ロシア語)	0014	学修単位	2																	2			宮崎 衣澄		
専門	選択	時事環日本海諸国語(中国語)	0015	学修単位	2																		2		星野 朱美		
専門	選択	時事環日本海諸国語(韓国語)	0016	学修単位	2																		2		緒方 薫		
専門	選択	時事環日本海諸国語(ロシア語)	0017	学修単位	2																		2		宮崎 衣澄		
専門	選択	海運論Ⅰ	0018	履修単位	1																	2			館 清志		
専門	選択	海運論Ⅱ	0019	履修単位	1																		2		館 清志		
専門	選択	保険論Ⅰ	0020	履修単位	1																	2			松原 義弘		
専門	選択	保険論Ⅱ	0021	履修単位	1																		2		松原 義弘		
専門	選択	ビジネスと法Ⅰ	0022	履修単位	1																	2			松原 義弘		
専門	選択	ビジネスと法Ⅱ	0023	履修単位	1																		2		松原 義弘		
専門	選択	経営管理論Ⅰ	0024	履修単位	1																	2			宮重 徹也		
専門	選択	経営管理論Ⅱ	0025	履修単位	1																		2		宮重 徹也		
専門	選択	経営科学Ⅰ	0026	履修単位	1																	2			成瀬 喜則		
専門	選択	経営科学Ⅱ	0027	履修単位	1																		2		成瀬 喜則		
専門	選択	環日本海社会地域経済論Ⅰ	0028	履修単位	1																	2			岡本 勝規		
専門	選択	環日本海社会地域経済論Ⅱ	0029	履修単位	1																		2		岡本 勝規		
専門	選択	英語圏異文化実習	0030	履修単位	4																	集中講義				西原 雅博	
専門	選択	環日本海諸国異文化実習	0031	履修単位	4																	集中講義				西原 雅博	
専門	選択	アドバンスト・コース	0032	学修単位	2																	2			清水 義彦		

富山高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)		授業科目	保険論 I	
科目基礎情報							
科目番号	0020		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	授業中にプリントを配布する。						
担当教員	松原 義弘						
到達目標							
保険のしくみや原則, 種類について説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	保険のしくみ・原理・意義を正しく理解し, 詳しく説明できる。		保険のしくみ・原理・意義を説明できる。		保険のしくみ・原理・意義を説明できない。		
評価項目2	日本の保険制度の歴史と概要を正しく理解し, 詳しく説明できる。		日本の保険制度の歴史と概要を説明できる。		日本の保険制度の歴史と概要を説明できない。		
評価項目3	火災保険の役割・種類・内容について詳しく説明できる。		火災保険の役割・種類・内容について説明できる。		火災保険の役割・種類・内容について説明できない。		
学科の到達目標項目との関係							
国際ビジネス (2) 経営学関連科目の理解							
教育方法等							
概要	学習目標(授業のねらい) 本講義では, 保険制度全般に関する基礎的知識 (総論) の習得と, 各種保険制度の概要 (各論) の理解を目標とする。 履修者にとって卒業後に実社会で役立つような内容としていきたい。						
授業の進め方・方法	教員単独による講義を実施する。						
注意点	・試験の成績を100%として評価する。 ・評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあつては、その評価を60点とする。評価方法及び評価基準は本試験に準じる。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス, 保険とは何か		保険とは何か, 保険の体系について説明できる。		
		2週	保険のしくみ		保険のしくみ (大数の法則, 収支相等の原則等) について説明できる。		
		3週	保険の効用と意義		保険の経済的効用, 社会的効用, 保険の弊害について, 保険の意義, 保険成立の要件について説明できる。		
		4週	保険の分類		損害保険と生命保険, 元受保険と再保険, 公保険と私保険, 保険類似制度の概要について説明できる。		
		5週	保険料		保険料のしくみ, 保険料の構成と算定, 保険の原則について説明できる。		
		6週	日本の保険制度		日本の保険の歴史, 規制制度, 業際問題について説明できる。		
		7週	保険業法の改正		保険業法改正の経緯, 現行法の概要, 規制緩和・自由化について説明できる。		
		8週	保険者と被保険者の義務		保険者の説明義務, 被保険者の告知義務, 重大事由による契約解除について説明できる。		
	2ndQ	9週	製造物責任法とPL保険		製造物責任法の内容とそれに対応するための保険について説明できる。		
		10週	保険会社の破綻と契約者保護制度 (1)		保険契約者保護の必要性, 保険会社の破綻要因, 早期是正措置について説明できる。		
		11週	保険会社の破綻と契約者保護制度 (2)		保険契約者保護制度, 保険会社の破綻処理について説明できる。		
		12週	火災保険 (1)		火災保険の役割, 歴史, 種類と内容について説明できる。		
		13週	火災保険 (2)		地震保険などの特約, 火災保険加入者の注意すべき事項について説明できる。		
		14週	火災保険 (3)		全部保険・一部保険・超過保険, 火災保険の現状と課題について説明できる。		
		15週	期末試験		第1～14週の学習内容の理解度を測る。		
		16週	答案返却, 解説, 授業アンケート				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	0	70
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

富山高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)		授業科目	保険論Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0021		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年		5		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	授業中にプリントを配布する。						
担当教員	松原 義弘						
到達目標							
保険のしくみや原則, 種類について説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	自動車保険・生命保険の概要を正しく理解し, 詳しく説明できる。		自動車保険・生命保険の概要を説明できる。		自動車保険・生命保険の概要を説明できない。		
評価項目2	社会保険の歴史・役割・体系について正しく理解し, 詳しく説明できる。		社会保険の歴史・役割・体系について説明できる。		社会保険の歴史・役割・体系について説明できない。		
評価項目3	で年金保険・医療保険・介護保険について正しく理解し, 詳しく説明できる。		年金保険・医療保険・介護保険について説明できる。		年金保険・医療保険・介護保険について説明できない。		
学科の到達目標項目との関係							
国際ビジネス (2) 経営学関連科目の理解							
教育方法等							
概要	学習目標(授業のねらい) 本講義では, 保険制度全般に関する基礎的知識(総論)の習得と, 各種保険制度の概要(各論)の理解を目標とする。 履修者にとって卒業後に実社会で役立つような内容としていきたい。						
授業の進め方・方法	教員単独による講義を実施する。						
注意点	・試験の成績を100%として評価する。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス, 自動車保険 (1)		自動車保険の役割, 歴史, 体系について説明できる。		
		2週	自動車保険 (2)		自動車保険の種類, 内容について説明できる。		
		3週	自動車保険 (3)		自動車保険の保険料決定の要素について説明できる。		
		4週	生命保険 (1)		生命保険の役割, 歴史について説明できる。		
		5週	生命保険 (2)		生命保険の種類, 内容について説明できる。		
		6週	社会保険とは		社会保険の歴史・役割, 社会保険の体系について説明できる。		
		7週	年金保険 (1)		年金保険制度の体系, 国民年金, 学生納付特例制度について説明できる。		
		8週	年金保険 (2)		厚生年金, 確定給付企業年金, 確定拠出年金について説明できる。		
	4thQ	9週	年金保険 (3)		障害給付, 遺族給付, 年金給付の調整について説明できる。		
		10週	医療保険 (1)		医療保険の役割, 職域保険と地域保険について説明できる。		
		11週	医療保険 (2)		医療保険給付の内容, 高齢者医療制度, 高額医療費制度について説明できる。		
		12週	労働保険 (1)		労働保険の概要, 労働保険関係, 労災保険制度について説明できる。		
		13週	労働保険 (2)		雇用保険制度の概要について説明できる。		
		14週	介護保険		介護保険の原則, 要介護状態・要介護認定, 保険給付とサービス, 保険料と利用者負担について説明できる。		
		15週	期末試験		第1～14週の学習内容の理解度を測る。		
		16週	答案返却, 解説, 授業アンケート				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	0	70
専門的能力	20	0	0	0	0	0	20
分野横断的能力	10	0	0	0	0	0	10

富山高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)		授業科目	ビジネスと法Ⅰ	
科目基礎情報							
科目番号	0022		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	浜村彰, 唐津博ほか著『ベーシック労働法第6版』（有斐閣, 2015年）						
担当教員	松原 義弘						
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	労働条件決定・変更のツールについて正しく理解し, 詳しく説明することができる。		労働条件決定・変更のツールの概要について説明できる。		労働条件決定・変更のツールの概要について説明できない。		
評価項目2	働き始めることと法ルール, 働き方のルールについて正しく理解し, 関連判例を含めて詳しく説明できる。		働き始めることと法ルール, 働き方のルールの概要について説明できる。		働き始めることと法ルール, 働き方のルールの概要について説明できない。		
評価項目3	働くことの対価と働く時間の法ルールについて正しく理解し, 関連判例を含めて詳しく説明できる。		働くことの対価と働く時間の法ルールの概要について説明できる。		働くことの対価と働く時間の法ルールの概要について説明できない。		
学科の到達目標項目との関係							
国際ビジネス（２）経営学関連科目の理解							
教育方法等							
概要	学習目標（授業のねらい） ・目標：ビジネスパーソンとして身につけておきたい雇用関係に関する法の基礎的知識の習得をめざす。 ・概要：雇用関係法の基礎的内容を学習する。できるだけ実際の雇用の場面における諸問題と法規定とを照らし合わせながら, 学習を進めたい。						
授業の進め方・方法	教員単独による講義を実施する。						
注意点	・試験の成績を100%として評価する。 ・評価が60点に満たない者は, 願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果, 単位の修得が認められた者にあつては, その評価を60点とする。評価方法及び評価基準は本試験に準じる。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス, 働くことと労働法		ビジネスにおける雇用の法ルールの必要性, 労働法の沿革について説明できる。		
		2週	雇用社会の変化と労働法制の改編		日本的雇用慣行, 変化する雇用社会について説明できる。		
		3週	労働法のパートナーと労働条件決定のしくみ		労働者・使用者・労働組合・労働者過半数代表の定義について説明できる。		
		4週	労働条件決定・変更のツールと制定法ルール		労働契約・労働協約・就業規則・労使協定, 労働基準法, 判例法理, 行政通達・指針について説明できる。		
		5週	働き始めることと法ルール（１）		求人, 職業紹介, 採用の自由と制約, 採用内定の法ルール, 内定と権利義務について説明できる。		
		6週	働き始めることと法ルール（２）		使用期間の法ルール, 留保解約権の行使, 労働条件の明示, 契約期間について説明できる。		
		7週	働き方のルール（１）		労働契約法, 労働契約の原則, 使用者・労働者の権利・義務, 懲戒処分法ルールについて説明できる。		
		8週	働き方のルール（２）		労働条件の集团的決定と変更, 就業規則の不利益変更の合理性判断枠組みについて説明できる。		
	2ndQ	9週	働き方のルール（３）		労働条件の個別的決定と変更, 配置転換・出行の法ルールについて説明できる。		
		10週	働くことの対価（１）		賃金に関する法ルール, 賃金のしくみ, 賃金のさまざまな決め方について説明できる。		
		11週	働くことの対価（２）		賃金の額や支払いについての法ルールについて説明できる。		
		12週	働く時間（１）		労働時間規制の意味, 法定労働時間について説明できる。		
		13週	働く時間（２）		フレキシブルな労働時間制度, 変型労働時間制, フレックスタイム制について説明できる。		
		14週	働く時間（３）		みなし労働時間制, 残業の法ルール, 労働時間ルールが及ばない働き方について説明できる。		
		15週	期末試験		第１～１４週の学習内容の理解度を測る。		
		16週	答案返却, 解説, 授業アンケート				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	0	60
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30

分野横断的能力	10	0	0	0	0	0	10
---------	----	---	---	---	---	---	----

富山高等専門学校		開講年度	平成27年度（2015年度）		授業科目	ビジネスと法Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0023		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年		5		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	浜村彰, 唐津博ほか著『ベーシック労働法第6版』（有斐閣, 2015年）						
担当教員	松原 義弘						
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	休む時間・安全快適に働くことの法ルールの概要について正しく理解し, 詳しく説明することができる。		休む時間・安全快適に働くことの法ルールの概要について説明できる。		休む時間・安全快適に働くことの法ルールの概要について説明できない。		
評価項目2	働くことをやめることについての法ルールを正しく理解し, 関連判例を含めて詳しく説明できる。		働くことをやめることについての法ルールを説明できる。		働くことをやめることについての法ルールを説明できない。		
評価項目3	職場における平等・雇用形態の多様化に関する法ルールについて正しく理解し, 関連判例を含めて詳しく説明できる。		職場における平等・雇用形態の多様化に関する法ルールについて説明できる。		職場における平等・雇用形態の多様化に関する法ルールについて説明できない。		
学科の到達目標項目との関係							
国際ビジネス（2）経営学関連科目の理解							
教育方法等							
概要	学習目標（授業のねらい） ・目標：ビジネスパーソンとして身につけておきたい雇用関係に関する法の基礎的知識の習得をめざす。 ・概要：雇用関係法の基礎的内容を学習する。できるだけ実際の雇用の場面における諸問題と法規定とを照らし合わせながら, 学習を進めたい。						
授業の進め方・方法	教員単独による講義を実施する。						
注意点	・試験の成績を100%として評価する。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス, 休む時間（1）		休憩と休日に関する法ルール, 年次有給休暇について説明できる。		
		2週	休む時間（2）		さまざまな休業・休暇（労基法によるもの, 育児介護休業法によるものなど）について説明できる。		
		3週	安全・快適に働く（1）		労働安全衛生法のあらまし, 安全衛生管理体制について説明できる。		
		4週	安全・快適に働く（2）		労働災害補償のしくみ, 業務上災害と通勤災害, 労災と民事訴訟について説明できる。		
		5週	働くことをやめる（1）		労働関係の終了と法ルール, 定年制, 解雇の法ルールについて説明できる。		
		6週	働くことをやめる（2）		整理解雇の法ルール, 退職時の法ルールについて説明できる。		
		7週	職場における平等（1）		職場における平等法ルール, 労基法における女性労働者保護について説明できる。		
		8週	職場における平等（2）		男女雇用機会均等法のしくみについて説明できる。		
	4thQ	9週	雇用形態の多様化と法（1）		典型労働者と非典型労働者, パートタイム労働法について説明できる。		
		10週	雇用形態の多様化と法（2）		労働者派遣法のしくみについて説明できる。		
		11週	労使自治と労働者代表制（1）		私的自治と労使自治, 労使交渉システムについて説明できる。		
		12週	労使自治と労働者代表制（2）		労働組合の要件, 不当労働行為, 労働協約の不利益変更と法ルールについて説明できる。		
		13週	労使トラブルを解決するしくみ（1）		労使トラブルのタイプと解決システム, 労働委員会について説明できる。		
		14週	労使トラブルを解決するしくみ（2）		個別的トラブルと解決システム, 集团的トラブルと解決システムについて説明できる。		
		15週	期末試験		第1～14週の学習内容の理解度を測る。		
		16週	答案返却, 解説, 授業アンケート				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	0	70
専門的能力	20	0	0	0	0	0	20
分野横断的能力	10	0	0	0	0	0	10